

平成27年2月13日（金）

国土交通省
東日本高速道路株式会社



— 記者発表資料 —

けん おう どう く き しら おか さかい こ が
圏央道 久喜白岡JCT～境古河IC間が
3月29日に開通します



～つながる。まわる。圏央道。～
国際競争力と成長を支える道路

平成27年度にかけて、次々とつながる、圏央道。
埼玉県と茨城県がつながります。

◇ **開通による主な効果** ◇

圏央道の整備により、東北道や常磐道などの放射方向の高速道路を結ぶ道路ネットワークが形成されます。広域的な人・物の交流により**民需が拡大し、地域経済の好循環が生まれます。**

効果① 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地する等、**民間の投資を喚起**します。
- 今回開通区間周辺においても、工業団地等への**企業立地**が進んでいます。

効果② 地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

- 都心を経由せず、埼玉や北関東・東北方面と成田国際空港を結ぶ**新たな広域ルート**が形成され、人・物の交流が活発となり、**地域経済の好循環**が期待されます。
- 圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）の開通により、茨城県内のICへの**30分圏域**が拡大します。

※開通時刻、開通式典の概要については、後日お知らせいたします。

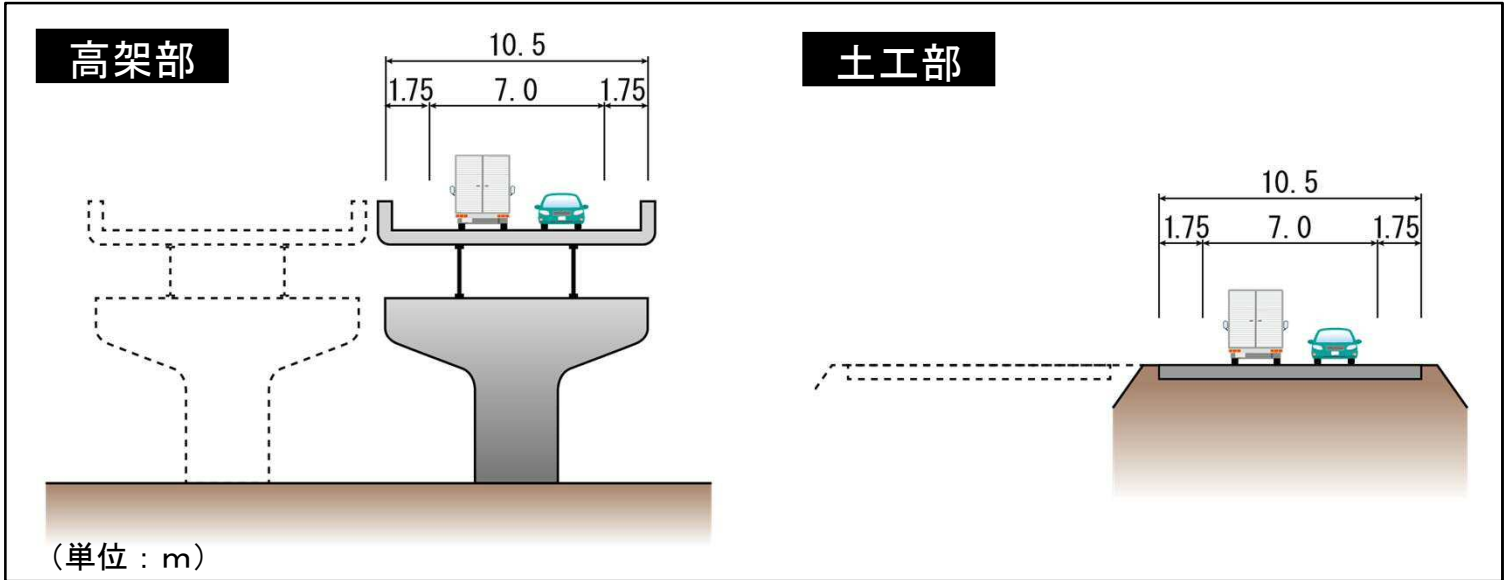
発表記者クラブ

国土交通省記者会 国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会
埼玉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所 TEL:048-942-4041（代表）
副所長（地域広報官） しみず のぶお 清水 信男 計画課長 きたみ ゆうじ 北見 裕二
東日本高速道路株式会社 【報道関係専用】 関東支社広報課 TEL:048-631-0222

■今回開通区間の標準断面図



■今回開通区間の状況



さかいこ が いばらきけん さしまぐん さかいまちにしずみだ
境古河IC(茨城県猿島郡境町西泉田)



きて さいたまけん きて しひらすか
幸手IC(埼玉県幸手市平須賀)



こか いばらきけん さしまぐん こか まちこうしゅ
五霞IC(茨城県猿島郡五霞町幸主)



効果① 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地する等、民間の投資を喚起します。
- 今回開通区間周辺においても、工業団地等への企業立地が進んでいます。

物流施設や工場の立地等、民間の投資を喚起

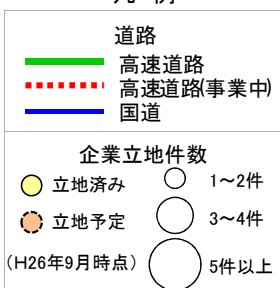
【圏央道の早期に開通した区間】

・平成19年に全通した関越道～中央道間では既にストック効果が発現

製造品出荷額（億円） 出典：工業統計調査

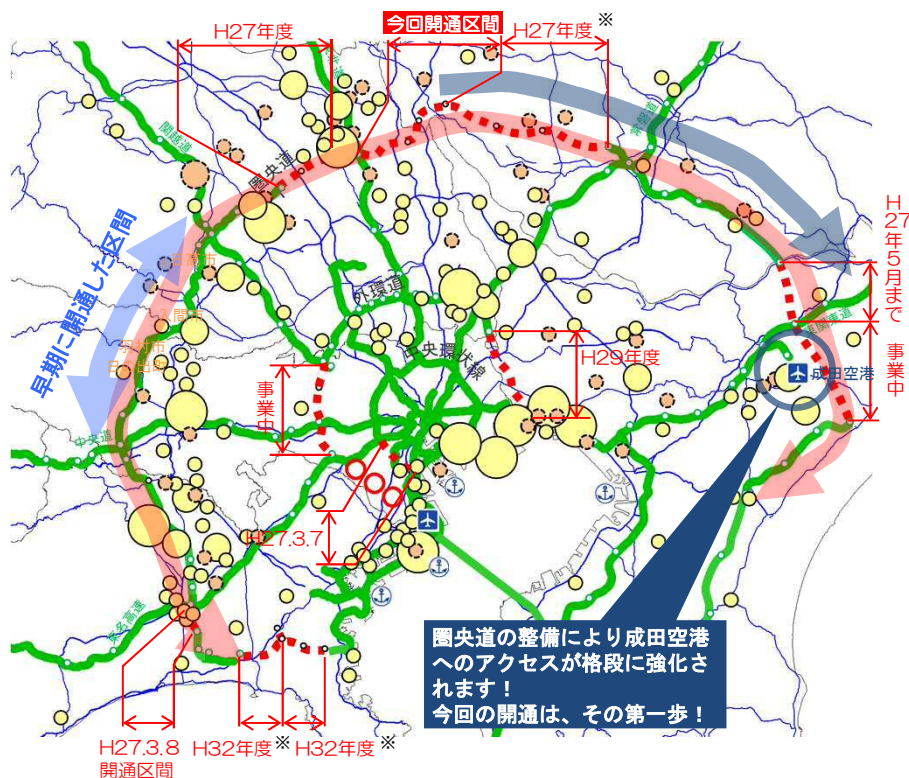
市町村名	H21	→	H24	(H24/H21)
日高市	1,271	→	1,579	1.24
入間市	2,823	→	3,872	1.37
羽村市	3,823	→	6,350	1.66
日の出町	529	→	637	1.20
埼玉県+東京都	197,983	→	203,373	1.03

凡例



※区間の開通時期については、土地収用法に基づく手続きによる用地買収等が速やかに完了する場合

出典)国土交通省調べ
 (平成7年以降の物流施設、工業団地、工場の立地を抽出)



今回開通区間周辺においても、工業団地等への企業立地が進行

【開通区間周辺における工業団地等への企業立地状況】



こがなさき 古河名崎工業団地

- ・分譲開始時期 : 平成22年～
 - ・立地全体面積 : 66.0ha
 - ・立地企業数 : 2社
 - ・主な企業 : トラックメーカー H24.5 KD※工場が稼働
H28 全面稼働予定
- 物流業

※KDとは、ノックダウン(Knock down)の略で、車の製造に必要な部品を組み立てるだけの状態にした生産体制のこと

ごか 五霞IC周辺地区(土地区画整理事業)

- ・計画用途 : 商業・工業・流通業務などの複合施設
- ・施行面積 : 37.1ha
- ・施行年度 : 平成26年度～平成31年度

さってちゅうおう 幸手中央地区産業団地

- ・分譲開始時期 : 平成28年～(分譲募集受付開始:平成25年～)
- ・立地全体面積 : 37.1ha
- ・立地企業予定数 : 11社
- ・主な企業 : 家具小売業、機械工具卸売業 等

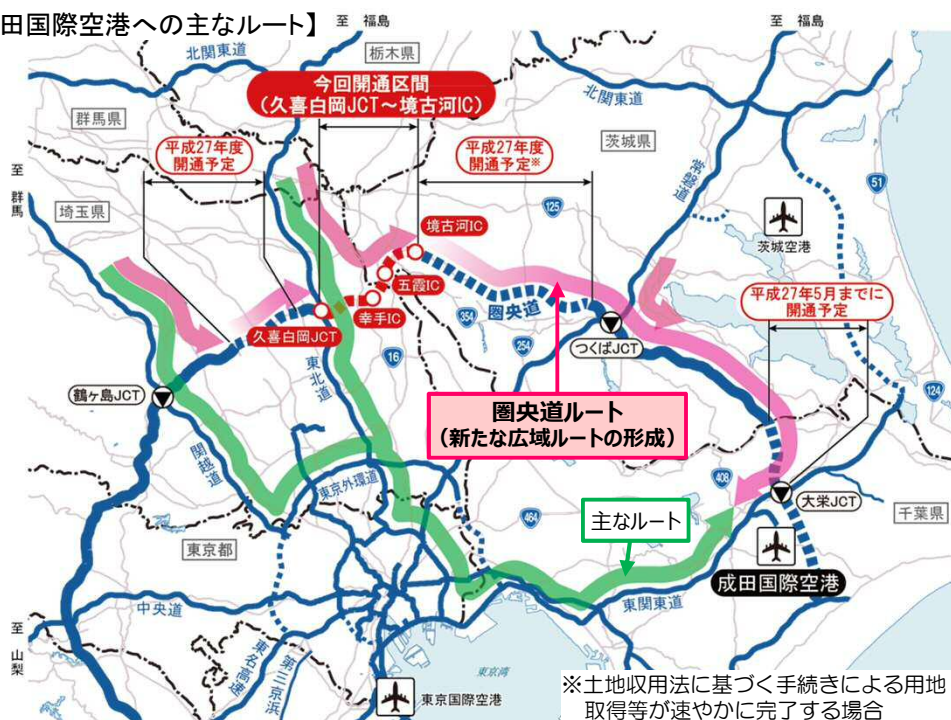
出典)工業団地等の位置:埼玉県工場適地図(平成26年度版)、茨城圏央道産業複合基本計画(H25.4)、圏央道沿線ナビホームページの産業情報をもとに作成。
 工業団地等の区分:沿線自治体のホームページ及びヒアリング結果をもとに作成。(平成27年2月4日時点)

効果② 地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

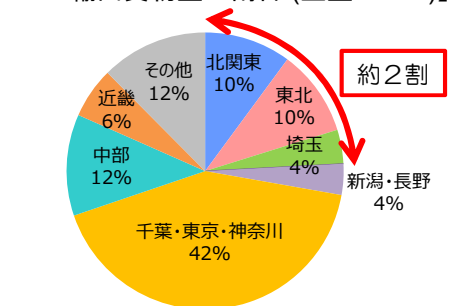
- 成田国際空港における国際航空貨物輸出量の約2割は埼玉や北関東・東北方面から発着しており、その主な輸送ルートは東関東道が担っています。
圏央道の整備により、都心を経由せず、埼玉や北関東・東北方面と成田国際空港を結ぶ新たな広域ルートが形成され、人・物の交流が活発となり、地域経済の好循環が期待されます。
- 圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）の開通により、茨城県内のICへの30分圏域が拡大し、茨城県西地域における30分圏人口の割合が約6割から約9割に増加します。

圏央道の開通で、新たな広域ネットワークが形成

【成田国際空港への主なルート】



【成田国際空港における発着地別輸出貨物量の割合(重量ベース)】



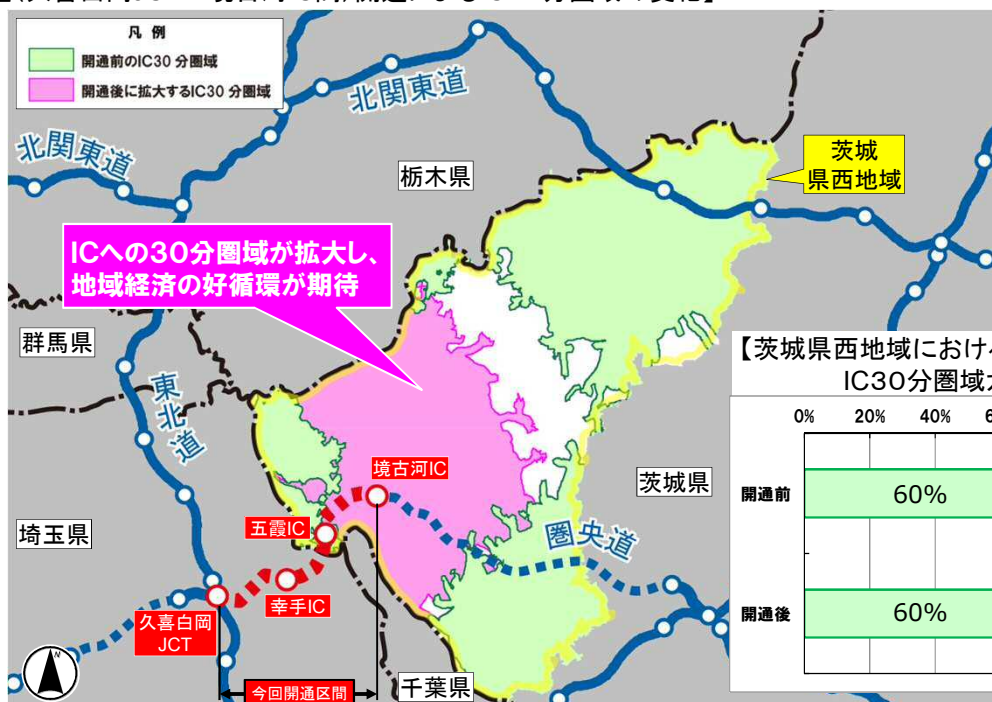
東北には北海道を含む
北関東は、茨城県・栃木県・群馬県
中部は、岐阜県・静岡県・愛知県・三重県
近畿は、滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
資料) 平成25年度 国際航空貨物動態調査報告書

圏央道が高規格幹線道路の空白地帯に延びて、ICへの30分圏域が拡大

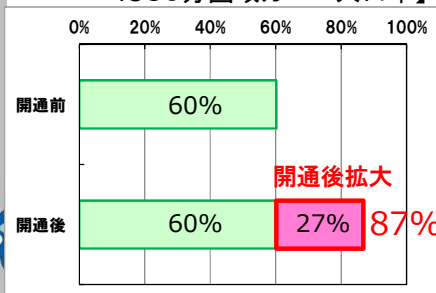
【茨城県西地域における圏央道(久喜白岡JCT～境古河IC間)開通によるIC30分圏域の変化】



茨城県西地域(7市3町)
古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町



【茨城県西地域におけるIC30分圏域カバー人口率】



出典) 所要時間は平成22年度道路交通センサスの12時間平均旅行速度より算出。整備後の圏央道(未供用区間)の速度は、規制速度(70km/h)を用いて算出。カバー人口率は該当するメッシュ単位の人口(平成22年国勢調査500mメッシュ)を集計。

参考 今回開通区間等の料金

■今回開通する区間の通行料金

通常料金

久喜白岡JCT							
軽自動車等	250	幸手IC					
普通車	310						
中型車	370						
大型車	510						
特大車	860						
軽自動車等	370	軽自動車等	120	五霞IC			
普通車	470	普通車	150				
中型車	560	中型車	190				
大型車	770	大型車	250				
特大車	1,280	特大車	420				
軽自動車等	580	軽自動車等	330	軽自動車等	200	境古河IC	
普通車	720	普通車	410	普通車	250		
中型車	860	中型車	490	中型車	300		
大型車	1,190	大型車	670	大型車	420		
特大車	1,980	特大車	1,120	特大車	700		

■主要ICまでの通行料金

	幸手IC		五霞IC		境古河IC	
白岡菖蒲IC (圏央道)	軽自動車等	360	軽自動車等	490	軽自動車等	690
	普通車	450	普通車	610	普通車	860
	中型車	550	中型車	730	中型車	1,030
	大型車	750	大型車	1,000	大型車	1,420
	特大車	1,250	特大車	1,670	特大車	2,370
浦和本線料金所 (東北道)	軽自動車等	1,030	軽自動車等	1,150	軽自動車等	1,360
	普通車	1,240	普通車	1,400	普通車	1,650
	中型車	1,450	中型車	1,640	中型車	1,940
	大型車	1,940	大型車	2,200	大型車	2,620
	特大車	3,130	特大車	3,550	特大車	4,250
宇都宮IC (東北道)	軽自動車等	2,130	軽自動車等	2,250	軽自動車等	2,460
	普通車	2,620	普通車	2,780	普通車	3,030
	中型車	3,110	中型車	3,300	中型車	3,600
	大型車	4,210	大型車	4,470	大型車	4,890
	特大車	6,920	特大車	7,340	特大車	8,040

○ETC時間帯割引

今回開通する「久喜白岡JCT～境古河IC」には、以下のETC時間帯割引が適用になります。

割引名称	主な内容
深夜割引	0時～4時の間に通行 30%割引
休日割引	軽自動車等および普通車が対象 土日・祝日に通行 30%割引

※ 各ETC時間帯割引の適用条件等の詳細については、NEXCO東日本のホームページ「ドラぶら」をご確認ください。

「PC」 <http://www.driveplaza.com/>

「携帯」 <http://m.driveplaza.com/>